

博物館講座

秋の星座と木星・土星観察会

秋の星座には、明るく輝く一等星はありませんがアンドロメダ大星雲やペルセウス座の二重星団など天体望遠鏡で見て楽しい天体が多くあります。また、木星と土星もまだ見頃です。ぜひご参加ください。▶日時：11月10日(金) 19:00 交流記念館前集合 20:00 解散 ▶参加費：無料 ▶講師：合地学芸員 ▶定員：6名 ▶持ち物：暖かい服装 ▶申込：必要 (TEL: 0152-23-1256)



アンドロメダ大星雲

特別展

「斜里平野の魅力」好評開催中！

四季折々の雄大な風景をわたしたちに魅せてくれる斜里平野がいかにして今日の景観へと変わっていったのか？そこには大きな気候変動と開拓者のたゆまぬ努力の歴史がありました。この特別展をご覧になることで、きっと平野の魅力と歴史を学ぶことができます。開催期間中にぜひご来館ください。▶期間：12月17日(日)まで ▶場所：交流記念館1階ロビー ▶入館料：特別展のみの観覧は無料

特別展講演会

「アイヌ語地名から探る斜里平野・1万年の歴史」

アイヌ語地名から斜里周辺の自然や地形、防風林などについてお話しいただきます。また、その自然や地名がどう変化してアイヌ語から現在の名前になっていったのか、斜里にいつから人は住み始めたのかといったことにも触れます。特別展では景観を軸にした明治以降の斜里平野の変遷を扱っていますが、もっと広い視点で斜里を考える講演会です。▶日時：11月25日(土) 開演 13:30 ~ 15:00 頃 ▶場所：博物館本館2階 映像展示室 ▶料金：無料 (要申し込み/定員30名) ▶講師：小野有五北海道大学名誉教授 (理学博士)。1948年東京都生まれ。専門は地理学。「たたかう地理学」(2013年)で日本地理学会賞、日本人文地理学会賞を受賞。 ▶その他：講演会終了後に特別展のミニレクチャーを行います (希望者のみ)。

収蔵資料展示

根北線の定期券

越川と斜里の間を結んだ国鉄根北線は、1970(昭和45)年に廃線になるまで、地域の大切な交通手段でした。学生たちが毎日のように使った小さな定期券から、当時の賑わいに思いを馳せてみてください。▶会期：11月8日(水)~12月3日(日) ▶場所：本館受付前 ▶この展示のみの観覧は無料



根北線の定期券つづり

学芸員の研究道具

「自動水温測定器(水温ロガー)」

本誌裏面のコラムを読んで、「どうやって1年を通して河川の水温を測っているんだろう？」と気になった人もいたかもしれません。

私自身が水温計を持って毎日川に行くことはできないので、「水温ロガー」と呼ばれる機械を川に沈めておきます。電池が切れるまで1日に2回、どんなに厳しい環境でも水中にある限り、正確に(そして健気に?) 水温を測定し記録してくれる頼もしい存在です。

(臼井)



回収した水温ロガーたち
1年も川に沈めるとコケだらけになる

休館日

11月3日(金)、6日(月)、13日(月)、
20日(月)、23日(木)、27日(月)